

○歴史的分野公開授業

安来市立第二中学校 教諭 村本 知里

1. 単元名 江戸時代の産業や交通の発達と庶民の文化 ～近世安来港の発展から見えてくるもの～

2. 単元の目標

松江藩にとって交通・流通の要地であった安来港の様子を資料をもとに調べ、「見方・考え方」を働かせて多面的・多角的に考察し、意見交換することを通して、江戸時代の産業、交通・流通の発展、貨幣経済の広がり、町人文化のおこりについて関連付けて理解させる。

3. 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は、江戸幕府の支配のもとに幕藩体制が成立し、産業や交通が発達し、経済的に豊かになった町人が文化を形成していくという内容を取り扱う。やがてこうした産業、交通・流通の発達が貨幣経済の浸透を促し、資本主義社会の基礎を築いていくという近世から近代へと時代の橋渡しをする単元と言える。ここでは経済や文化を視点に時代を大観していくが、その際に学習指導要領に「身近な地域の特徴をいかし、身近な地域の事例を取り上げる」とあり、その主旨をふまえて郷土の歴史を取り扱う。「安来が松江藩にとって重要な場所だったのはなぜか？」という単元を貫く問いを設定し、松江市史、安来市誌などの郷土資料を用いて、交通の用地として発達した地理的な要因、松江藩の財政から見える地域の産業の特徴、安来節の発達に伴う町人文化の様子を、「社会的な見方・考え方」を働かせて読み取り、地理的側面、交通・流通的側面、産業的側面、文化的側面などを関連付けながら、時代を考察させるという学習活動を行う。このように地域の歴史を学習することは、身近な歴史が教科書に書かれている日本の歴史と関連していることを実感し、興味・関心を高めるうえで有効であり、身近にあるものが歴史と結びつき知識が再構築され、思考が深まると考える。

また、本校の2年生は、総合的な学習の時間に安来の良さを調べ、修学旅行先で安来をアピールするとともに安来節を披露している。本単元は、総合的な学習の時間と関連する教科横断的な内容であり、社会科歴史的分野のねらいだけでなく、総合的な学習の時間の“地域を知る”についてもより深い理解が得られると考える。

(2) 生徒の実態

省略

(3) 指導にあたって

本単元全体を通して、資料を読み取り、見方・考え方を働かせて思考を深めるという流れで構成している。したがって思考を深めるために資料の読み取りの際にどのような見方・考え方を働かせるかを生徒自身が把握することが重要になってくる。特にマッピングに対して否定的な回答をしている生徒には、各時間の学習で、資料を提示するときに、「共通点と差異について読み取る」「原因と結果の因果関係について読み取る」「比較して読み取る」など具体的な見方・考え方を丁寧に説明し、思考の深まりにつなげていきたい。また、単元を貫く問いを考える際に、どうやればいいかわからない生徒に対しては、2つのキーワードをつなげた図（）をいくつか作ってから、マッピングに取り掛かるなどの工夫を行っていききたい。

また、総合的な学習の時間では、安来の町をガイドさんに案内をしてもらって地域の良さを知り、修学旅行で発信する活動を行っている。本単元の最初に、単元を貫く問いを予想したり各時間の問いを考えたりする際には、そうした総合的な学習の時間が生かせるものと考え。この学習によって、総合的な学習の時間の内容と相互に関連しあって歴史の知識を再構築すると同時に、安来とい

う地域への理解や誇り、愛着が高まってほしいと感じる。

4. 指導と評価

(1) 単元構造図 後掲

(2) 評価規準

	ア) 知識・技能	イ) 思考・判断・表現	ウ) 主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	安来港の発展とそこに暮らす人々の生活の様子を通して江戸時代の産業や交通の発達、文化の広がりについて理解している。	安来港の発展とそこに暮らす人々の生活の様子を通して、日本全体の通史や松江藩の歴史と比較したり、関連付けたりしながら、江戸時代の産業や交通の発達、文化の広がりを考え、時代の特色を表現している。	単元の問いについて、各時間で学習したことをもとに意欲的に考え、そこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。
単位時間における評価規準	②地図や動画から情報を集め、月山富田城と松江城の立地を比較して読み取っている。 ⑥産業や交通が発達することによって、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解している。	③安来の位置と地形などの地理的条件と交通を関連付けて説明している。 ④北前船によって運ばれた物を通して、全国的な物流と安来を関連付けて説明している。 ⑤交通、産業の発達など事象同士の因果関係を関連付けて説明している。 ⑦⑧単元の問いについて各時間の学習をもとに、地理的な位置や産業や交通、人々のくらしや文化などさまざまな視点に関連付けて表現している。	①意欲的に、単元を貫く問いについて予想したり、問いを立てたりして学習の見通しを持っている。 ⑦⑧単元の問いについて各時間の学習をもとに、意欲的に考えようとしている。

(3) 指導と評価の計画（全8時間）

	各時の問いや学習活動	評価の観点	評価の方法	支援が必要な生徒への手立て
第一時	「安来が松江藩にとって重要な場所だったのはなぜか？」という単元を貫く問いを予想し各時間の問いをつくる。	意欲的に予想したり、問いを立てたりして学習の見通しを持っている。（主体的に学習に取り組む態度）	ワークシート 授業中の発言	グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。 動画資料を活用する。
第二時	月山富田城から松江城に城が移った理由は？	月山富田城と松江城の立地を比較して違いに気づき説明している。（知識・技能）	ワークシート 授業中の発言	グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。 動画資料を活用する。
第三時	江戸時代の安来はどんな場所であったのか？	安来の位置と地形などの地理的条件と交通を関連付けて説明している。（思考・判断・表現）	ワークシート 授業中の発言	グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。 写真資料を活用する。

第四時	北前船で、安来から運ばれた物は？安来にもたらされた物は？	北前船によって運ばれた物を通して、全国的な物流と安来を関連付けて説明している。(思考・判断・表現)	ワークシート 授業中の発言	グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。 動画資料を活用する。
第五時	「見立て番付」から読み取れる安来の産業の様子は？	交通、産業の発達など事象同士の因果関係を関連付けて説明している。 (思考・判断・表現)	ワークシート 授業中の発言	グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。 写真や実際使われていた道具を活用する。
第六時	「見立て番付」などから読み取れる安来の文化の様子は？	人々のくらしや文化の様子を交通、産業の発達など事象同士の因果関係を関連付けて理解し、説明している。 (知識・技能)	ワークシート 授業中の発言	グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。 写真資料を活用する。
第七時・第八時(本時)	各時間のキーワードを関連付けて個人でマッピングをつくる。 作ったマッピングをグループで意見交換し、修正、加筆して仕上げ、発表する。	・各時間の学習をもとに地理的な位置や産業や交通、人々のくらしや文化などさまざまな視点を関連付けて表現している。 (思考・判断・表現) ・各時間の学習をもとに意欲的に考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	ワークシート 授業中の発言	キーワードを結ぶときに「共通点と差異」「原因と結果」「比較」などの見方・考え方を使うように助言する。 グループの意見交換によって、より多くの視点で考察した意見に触れさせる。

5 本時の学習(第1次 8/8時)

(1) 目標

「安来が松江藩にとって重要な場所だったのはなぜか？」という単元を貫く問いについて、考察したり、意見交換したりすることを通して、地理的な位置、産業や交通、文化などの視点を関連づけて主体的に表現する力を養う。

(2) 展開

生徒の学習活動	教師の支援
○ 前時までの学習をふりかえる。 ○ 本時のねらいを確認する。 ねらい 江戸時代の安来の様子について各時間で学習したキーワードを関連付けて、単元の問いを考える。	・ 本時の学習は、前時までの内容をもとに意見交換し考えを深める活動であるということを確認する。 ・ 学習の見通しをもてるように、本単元の学習を、記述したワークシートやパワーポイントを用いて振り返る。

単元を貫く問い 安来が松江藩にとって重要な場所だったのはなぜか？	
① 単元を貫く問いについて考えたことをグループで発表する。 ② グループ内で各自の意見を参考にしてまとめる、ボードに記入する。 ③ グループの意見を発表する。	・ 「共通点と差異」「原因と結果」「比較」などの見方・考え方を使ってマッピングを行うことを確認する。 ・ 前時に、個人で各時間のキーワードをつなげたマッピングをつくることを通して、産業や交通の発達、町人文化や都市の形成などの相互の関連性について個々の意見を持たせておく。 ・ グループの中で1人のマッピングを土台にグループのマッピングを作るという方法などを紹介し、手順について助言する。 ・ なぜ線で結んだのか理由を説明できるように助言する
○ 単元を貫く問いについてまとめる。 ○ 振り返りを書く。	・ それぞれのグループの意見をボードに示すことによって、グループで行った活動を全体で共有する。 ・ 生徒から出た意見を、個人のまとめの参考になるように構造化して示し、産業や交通の発達、人々のくらしや文化な相互に関連していることを理解させる。 ・ 自分のまとめたマッピングの上に、新たに意見交換で気づいたことをペンで加筆する。 ・ 江戸時代の後半全国的に行われた幕政や藩政の改革にもふれ、経済面から見た通史との関連を示す。

(3) 本時の評価

イ) ⑧ 単元の問いについて、各時間の学習をもとに、地理的な位置、産業や交通、人々のくらしや文化などさまざまな視点を関連付けて表現している。【思考・判断・表現】

十分満足できると判断される生徒の姿	・ 各時間で学んだ内容やキーワードをすべてふまえて、それらを関連付けてマッピングを作り、地理的な位置、産業や交通、文化などすべての視点から安来が重要な場所であったことを表現している。
おおむね満足できると判断される生徒の姿	・ 各時間で学んだ内容やキーワードをいくつかふまえて、それらを関連付けてマッピングを作り、地理的な位置、産業や交通、文化など複数の視点で安来が重要な場所であったことを表現している。

ウ) ⑧ 単元の問いについて各時間の学習をもとに、意欲的に考えている。

十分満足できると判断される生徒の姿	・ 各時間で学んだ内容やキーワードをすべてふまえて、さまざまな視点から安来や重要な場所であったことをマッピングで表現しようとしている。
おおむね満足できると判断される生徒の姿	・ 各時間で学んだ内容やキーワードをいくつかふまえて、さまざまな視点から安来や重要な場所であったことをマッピングで表現しようとしている。

(4) 授業研究の視点

- ・ 「安来が松江藩にとって重要な場所だったのはなぜか？」という単元を貫く問いに迫るために、各時間の問い、資料、見方・考え方を明確にしたワークシートは適切であったか。
- ・ マッピングの方法が、事象を関連付け、思考を深めるのに有効であったか。

4 指導と評価

(1) 単元構造図

